



平成27年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力 契約署名及び小切手供与式

2016年3月4日、西パナマ県アライハン市において、「アライハン市障害者用通院車両整備計画」及び「ブリサス・デル・チュミカル学校3教室増築計画」に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力の契約署名及び小切手供与式が行われ、磯部大使をはじめ、テミストクレス・エレラ西パナマ県知事、教育省西パナマ県支部関係者の他、多くの方々が出席しました。

式典において、各案件の被供与団体であるアライハン市及びブリサス・デル・チュミカル学校保護者会の各代表は、それぞれ大使館との間で契約署名を行い、前者へは59,854米ドル、後者へは89,561米ドルが贈与されました。

両案件は、アライハン市民の生活に密着したものであり、今回の日本政府の支援により、同市における医療及び教育環境の大きな改善につながることが期待されます。



アライハン市



ブリサス・デル・チュミカル学校保護者会

各案件概要

アライハン市障害者用通院車両整備計画

被供与団体：アライハン市

供与内容：30人乗りバス及び車椅子

供与額：59,854米ドル

案件概要：アライハン市には、腎不全・透析患者が180人確認されており、その内、人工透析を受ける必要がある患者は71人に上っています。しかし、同処置が受けられる施設は同市内にはなく、市外近隣の施設に通院する必要がありました。被供与団体であるアライハン市は、同市所有のバスを使用し、市内から医療センターまでバスの無料送迎を実施していましたが、支援が必要な患者全員に対応できない状態でした。本件実施により、支援要請者全員に通院手段が確保され、命に関わる事態を未然に予防することが期待されます。

ブリサス・デル・チュミカル学校3教室増築計画

被供与団体：ブリサス・デル・チュミカル学校保護者会

供与内容：3教室建設

供与額：89,561米ドル

案件概要：ブリサス・デル・チュミカル学校は、5歳から15歳までの約800人が通う幼小中一貫校です。同校では、近年増加する生徒数に対して教室数が不足しており、教育環境として望ましくない倉庫、図書室及び食堂を教室として代用していました。今回の支援により、同学校の教室不足を解消し、教育環境改善に繋がることを期待されます。